Rotary
Rotary International District 2800
2017～2018
TAKAHATA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT

ロータリー：
変化をもたらす

会長　山村　義美　　幹事　庄司　薫　　例会　毎週木曜日　12：30～13：30　旅館 エビスヤ
http://takahata-rc.net　事務局　山形県高畠町大字高畠911-2/2F　tel 0238-52-5440・fax 0238-52-5444

今日の例会　［2402 th］　2017. 8. 17

ゲストスピーチ

JR東日本ホテルズ フォルクローロ高畠
副支配人　**安藤慶一** 氏

先週の例会　［2401 th］　2017. 8. 10

ゲストスピーチ

きらやかコンサルティング＆パートナーズ㈱
企業戦略Gr マネージャー　**大類真人** 氏

・点鐘12時30分　山村義美会長
・ロータリーソング　それでこそロータリー
　4つのテスト
・ソングリーダー　木村健彦君
・S　A　A　若林智次君

会長あいさつ

山村　義美　会長

みなさんこんにちは、毎日暑い日が続いていますが体調管理はいかがでしょうか？。納涼会･ビアパーティーがいろんなところで開催されておりますが、ビールや冷たい飲み物はほどほどになされたほうがお身体のためにはよろしくよろしいようです。

本日のゲストスピーカーをご紹介いたします。きらやかコンサルティング&パートナーズ（株）企業戦略 Gr マネージャー 大類 真人様です。後程講話をよろしくお願いいたします。

いよいよ甲子園の全国高校野球大会もはじまり、昨日の第四試合で山形県代表・日大山形と高知県代表・明徳義塾の熱戦がありました。みなさんご存知のように 6 対 3 で敗けてしまいましたが 12 回までどちらが勝ってもおかしくない試合でした、私も会社でロータリーメンバーの片平琢朗君と大浦英樹君とテレビで応援していました。2 時間 39 分のながい試合でしたがとても、楽しいひと時でした。

最後に日大山形野球部女子マネージャー小梁川さんが何度もテレビでアップされ、とても可愛いと思ったのは私だけでなく全国の高校野球ファンのみなさんも同じだと思いました。

マネージャーの小梁川さんと近藤大成君・齋藤好誠君・沼沢拓実君達はベンチに入ってる高畠町の選手です。また高畠町からもたくさん応援に行ったとお聞きました。みなさん大変お疲れ様でした。

スマイルBOX

・鷹山シンポジウム「秀吉も恐れた政宗と彼を育てた米沢と伊達」が8月27日伝国の杜で開催されます。
木村　健彦 君

・外孫ですが長女に息子がうまれました。
金子　良弘 君

《幹事報告》

庄司　薫　幹事

・鶴岡東RCの創立30周年記念式典が、10月21日に行われます。参加をご希望の方は事務局にお申し出ください。
・山形銀行の振込手数料が変更になります。
108円の手数料が、10月からは324円となります。
ちなみに、月額15,108円が15,324円となります。

《出席報告》

会員数 49名　出席者数 19名　出席率　38.78 %
前回修正　　出席者数 30名　出席率　61.22 %

《メークアップ》

大浦　英祐 君・杉森　文昭 君・髙梨　正章 君
玉野　敏安 君・土屋　　衛 君・金子　良弘 君

次週の例会　［2403 th］　2017. 8. 24

ゲストスピーチ

税理士法人 フィールド
東京国際法務行政書士事務所
税理士　**栗山貴志** 氏

ゲストスピーチ

きらやかコンサルティング＆パートナーズ㈱
企業戦略Gr マネージャー　**大類真人** 氏

はじめまして。只今ご紹介にあずかりました、きらやかコンサルティング&パートナーズの大類と申します。
まず初めに、日頃よりきらやか銀行をご愛顧ご支援いただき誠にありがとうございます。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。また、本日はこのような機会を頂戴し誠にありがとうございます。

早速ですが本題に入りたいと思います。本日のテーマは「円滑な事業承継対策について」ということで、事業承継問題を取り巻く環境や、そもそも事業承継の課題とは何なのか？検討方法や対策の進め方などについて、ポイントを絞ってお伝えさせて頂きます。経験豊富な皆様の前で甚だ僭越ではございますが、30 分ほどおつきあい頂きたく存じます。

始めに、「我が国の中小企業の取り巻く環境について」ご説明させて頂きます。

1）中小企業（事業者数の推移）を見ると 1999 年からの 15 年間で約 100 万社が減少しています。近年は景気回復基調にあり減少に歯止めがかかっているものの、経営者の高齢化により、中小企業の数の減少は更に進行することが予想されます。
2）中小企業社数の減少要因（廃業の理由）を見ると、経営者自身の年齢・体力・気力、後継者不在といった事業承継に関する理由が全体の 4 割を占めています。
3）経営者の平均年齢の推移を見ると、1990 年からの 25 年間で、54 歳から 59.2 歳となり約 5.2 歳高くなっています。今後も社長の平均年齢は益々高齢化が進むものと予想されます。
4）後継者の決定状況と承継先の状況を見ると、60 歳以上の社長で後継者がまだ決まっていない割合が 50%、半数が後継者不在となっています。また 20 年以上前と比べて、親族以外の役員や第三者に承継する割合が 7.4%→39.5%と大幅に増加し、約 4 割が親族外承継になっています。

続きまして、そもそも事業承継とは何か？を改めて整理してみます。

一言で言えば、「現経営者から後継者へ事業のバトンタッチを行うこと」です。企業がそれまで築き上げてきた様々な財産（ヒト・資産・目に見えにくい経営資源）を上手に引き継ぐことです。よく事業承継＝相続税対策と見られがちですが、相続税対策は事業承継のほんの一部にすぎません。社長の経営理念や顧客情報、技術力、担当者の人脈といった目に見えにくい経営資源の引継が最も難しく重要であると言われています。

では、事業承継の検討方法と一般的な進め方についてご説明いたします。

1）現状の分析・把握（会社の自社株式、株主構成、経営者の資産保有状況、法定相続人といった切り口で正確な現状分析と課題の把握が不可欠です。）
2）株式分散リスク・相続税関連課題の抽出（課題の優先順位を検証します。）
3）後継者の決定（親族内・役員等の親族外・第三者への M&A といった切り口で、後継者の適正・能力等を見極めて決定していきます。）
4）対策の検討と計画の作成（現状を踏まえ、各種課題を解決するための対策・スキームを検証します。）
5）対策の実行（効果の大きいものから優先的に取組み、短期的・中長期的な対策をスケジュール化して実行していきます。）

ここで重要なのは、事業承継対策は客観的な立場の専門家を活用することです。当事者だけで進めようとすると、事業承継対策は重要なことだとわかっていても、本業が忙しく、なかなか前に進まず先送りされがちです。また、親と子の立場、社長と役員の立場であると、感情的になったり、なかなか本音で話し合うことが難しかったりして建設的な意見交換や情報共有ができない場合が多いです。よって第三者から仕切りとして中間に入ってもらい、行司役になってもらうことが成功の近道だと言えます。

次に事業承継計画書の作成についてもう少し掘り下げてみます。

事業承継計画書を作成（見える化）するには、自社の現状（①会社の状況 ･②経営者の状況 ･③後継者候補の状況 ･④相続時に予想される状況）を正確に把握することが非常に重要になります。事業承継計画書の作成を通じて、自分の会社を改めて知るきっかけとなり、経営のかじ取りにとっても効果が大きいと言えます。ちなみに、事業承継計画書のサンプルは、参考資料として資料の後ろに掲載してありますのでご参照願います。

次はどうやってご自身が保有している株式を後継者に渡すか？いわゆる自社株式対策について考えてみます。

自社株式は財産評価基本通達に基づき株価の評価方法が定められております。業績が好調で、純資産額が積み上がっている会社の場合は、必然的に自社株式の評価額も高くなってしまい、株式の承継対策が必須となります。決算の都度に税理士の先生などに株式の評価を依頼して、念入りに具体的な対策を練っておくことが重要です。その際に贈与（無償で渡す）を選択するのか、譲渡（売買による現金化）を選択するのかを、自社の置かれている現状（株式の分散度合）や、経営者の置かれている現状（法定相続人の状況、後継者の状況、納税資金の要否、現金化の要否）などをそれぞれのメリットとデメリットを分析したうえで対策を決定していきます。

最後に、本日お伝えさせて頂いた内容は、ほんのさわりの部分だけです。実際は、それぞれのお会社の状況によって非常に複雑で込み入った課題が内在していることだと思われます。より具体的な対策などについてご興味がおありの際は、ぜひ私ども　きらやかコンサルティング&パートナーズ　にご相談ください。きらやか銀行高畠支店と一体となって　皆様の経営課題解決に向けて頑張らせて頂きます。

それではご清聴ありがとうございました。今後ともより一層きらやか銀行グループをご支援賜りますよう宜しくお願い致します。